

# Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/5/22(月)

## 創世記49章

ヤコブはその地上の生涯の最後に、息子たちそれぞれにふさわしい祝福を与えた。ここには良いことも悪いことも書かれているけれど、大切なことは、すべての者たちが神様の前に覚えられていることだね。

4番目の兄弟ユダへの祝福に注目しよう。10節には王権についての預言がある。このことばの通り、ユダ族からダビデ王を始めとする王たちが生まれ、そしてこの系図から真の王であるイエス様が私たちのために人として誕生するんだ。神様のご計画の壮大さと確かさに感動するね！

18節で、ヤコブは神様が与えてくださる救いを叫んだ。イエス様が救い主として私たちのところに来てくださったことを喜ぼう！神様に覚えられている自分として、今日どのように歩みたいか考えよう！

2023/5/23(火)

## 創世記50:1-14

ヨセフは父ヤコブを遺言の通りカナンの地の先祖の墓に葬った(5)。それはアブラハム、イサク、ヤコブに「この地を与える」と言われた神様のことばを信じて受け取っていたからなんだ。そしてヨセフも地上生涯をエジプトで過ごしながら、必ず神様が与えてくださる地に帰ると信じていた(24)。さらに、新約聖書のヘブル人への手紙の著者は、彼らは実際には天の故郷を思っていたことを記しているよ(ヘブル11:13-16)。

●この地上生涯がすべてと考える生き方と、天の故郷を目指して生きる生き方とでは、私たちの生き方で何が変わってくるだろうか？考えてみよう！

●この世と調子を合わせて生きるのではなく、神様のみこころに生きよう！

2023/5/24(水)

## 創世記50:15-26

主イエスの赦しのわざは完全であり、主イエスを信じることによってどんな罪も赦される。しかし、人は誰かを傷つけた場合、赦しの言葉をもらっても苦悩する場面がある。

ヨセフの兄弟たちも、ヨセフから赦されたという確信が持てなかった。兄弟たちはヨセフにひれ伏し、奴隷となるので命を助けてくれと懇願する。ヨセフは彼らに対し、神の代わりになれないため復讐はできないこと、兄弟たちの悪を神は良い計らいとしてくださったと語った。

「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、全てのことが働いて益となることを、私たちは知っています。」(ローマ8:28)のみことばを覚えよう！

2023/5/25(木)

## ヨシュア1章

モーセの後継者としてヨシュアが立てられ、荒野を40年彷徨ってきたイスラエルの民に、約束の地カナンを受け継がせる使命があたえられた。(2v)

さらに神様は、

「わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。」(3v)

「あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」(5v) という約束までしてくだされっている。

現代を生きる私たちにも神様の約束はある。恐れはないだろうか？この世と調子を合わせてはいないだろうか？

「強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。」神様の言葉を信じて歩むものとなるう！！

2023/5/26(金)

## ヨシュア2章

●ラハブは自分の住むエリコの王とイスラエルの神とどっちを恐れているかな？

●エリコは立派な街だった。しかしラハブは、本当に自分を守るのは、人の目に強く見えるものではなく、目に見えない神だと信じていた。この話からきみは何を感じたかな？神様を大事にするって、きみにとって、何をすることだろうか？

2023/5/27(土)

## ヨシュア3章

ヨシュアに導かれた人々は、ヨルダン川の岸辺に滞在していた。この川は春になると山からの雪解け水や雨で、とっても急な流れになる川だったんだ。けどそこを渡るよう示され、しかも川が本当にせきとめられるかは祭司が川に一歩足を入れるまで分からない。

その一歩はとても勇気のいるものだったけど、実際にそれで川が止まる奇跡がおきたね。人々は川の底の地面を渡りきることができたんだ。神様を信頼して踏み出す一歩の先には、神様のわざを体験する祝福が待っている！みんなにとって神様からももらった信仰のチャレンジは何か？今日踏み出せる一歩を出してみよう！

2023/5/28(日)

## ヨシュア4章

今日はペンテコステ、聖霊が降られた日だ。

イエス様が弟子たちに与えられた約束が実現したことが生き生きと描かれている。弟子たちは聖霊に満たされて終わるのではなく、大胆に、色々な国の言葉で神のみわざを語った。イエス様が約束されたこと、弟子たちに託した福音は、一部の民族や言語に留まるのではなく、世界中に語られるべきものであることを象徴しているよ。

その福音が与えられている私たちは、この札幌の地で何を語るだろうか。

ペンテコステの時と同じ聖霊が私たちにも働いてくださっている！聖霊が、私たちに遣わされた場で用いてくださるように、助けを得て豊かに語る事ができるように祈ろう！！